

六甲山地での土砂災害対策を学び母国で活かすために！

～JICA「エクアドル国 土砂災害リスク減少能力向上プロジェクト」研修～

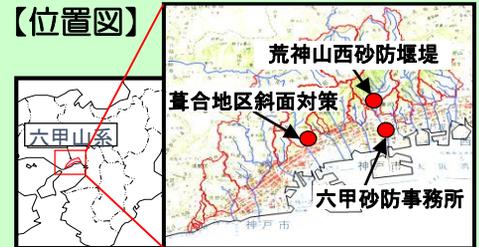
～六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、エクアドル共和国から来日された「エクアドル国 土砂災害リスク減少能力向上プロジェクト」の研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。講義では、六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みなどの説明を行い、現地視察では、砂防堰堤や斜面对策を案内しました。

概要

日時：令和5年11月13日（月）13：30～17：00
 場所：六甲砂防事務所
 荒神山西砂防堰堤
 （神戸市東灘区住吉山手9丁目）
 葦合地区斜面对策
 （神戸市中央区熊内町8丁目）
 主催：JICA
 参加者数：10名（エクアドル）

【位置図】



事業概要説明では、六甲山地で実施している砂防堰堤の整備等の土砂対策事業や、六甲山系グリーンベルト整備事業での取り組み、各事業での課題について説明しました。現地視察では、都市部に隣接している砂防堰堤や斜面对策を見てもらうことで砂防事業の重要性・必要性を実感いただき、エクアドルで必要とされる土砂災害に対する政策や対策技術について学びを得ていただくことが出来ました。



事業概要説明の様子



堰堤視察で記念撮影（荒神山西砂防堰堤）



斜面对策視察の様子（葦合地区斜面对策）

【質疑応答】

Q：ひとつの溪流で堰堤を何基作るか基準はありますか？

A：特にありません。できれば最下流の保全対象の直上流に大きな堰堤を1基つくるのが効率的です。

Q：斜面对策の鉄筋挿入はどのように施工するのですか？

A：初めに機械を使用して削孔し、そこに鉄筋を差し込み、間にモルタルを詰め込んで地山と鉄筋を一体化させます。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

